



H17.11.25 1170
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 第25回全国豊かな海づくり大会 横浜みなとみらいで盛大に開催

第25回全国豊かな海づくり大会が、11月20日神奈川県横浜市の横浜みなとみらい21地区(パシフィコ横浜及び臨港パーク)において、天皇・皇后両陛下をお迎えして開催されました。

大会は、「光る海 未来を映す 大きな鏡」をテーマに「海の再生と魚の食文化の創造」を基本理念として、水産資源の維持培養、市民との連携による海の環境改善と再生、秩序ある海の利用の推進、及び豊かな海に支えられた魚の食文化などを発信することを目的に、本会からの西川会長を始めとする県下漁協関係者24人を含む全国の漁業関係者3,500人と、一般市民を含め約15万人が来場し盛大に開催されました。

式典会場では、和太鼓、中国獅子舞演技の披露や、神奈川の観光・漁業等の紹介映像が上映され、登壇者の紹介が行われ小野誠JF神奈川漁連会長の開会の言葉で式典が始まり、河野洋平全国豊かな海づくり大会会長(衆議院議長)、主催者の松沢成文神奈川県知事、中田宏横浜市長の挨拶、伊波洋之助横浜市長が歓迎の言葉に続いて、天皇陛下よりスマトラ沖大地震による津波の被害について触れられたうえ「このような海の危険性を十分に認識し、災害への対応に努めつつ、海がもたらす恵をいかに人々のために役立てていくかを考えることが極めて必要」であり、「この大会が海に関する関心をさらに高め、多くの人々が豊かな海づくりを目指して協力していくことを願います」とのお言葉を賜りました。

引き続き、栽培漁業や資源管理型漁業及び漁場保全に功績があった団体や絵画・習字・作文・写真の各入賞者の表彰が行われ、本県から作文の部で河内星樹さん(焼津・港小2年)が大会会長賞、中島隆汰君(焼津・豊田小2年)、金原美怜さん(焼津・南小6年)が水産庁長官賞、写真の部で三富香織里さん(裾野・須山中2年)が、また功績団体で、静岡県漁業振興基金が水産庁長官賞を受賞しました。

この後、子ども達による「かながわの海づくりメッセージ」を読み上げ、植村正治大会推進委員会会長(JF全漁連会長)が「『光る海 未来を映す 大きな鏡』を目指して、豊かな海の恵を再び取り戻すことを決議する」と大会決議を読み上げ、満場の拍手をもって採択され、最後に大会旗が次回開催県の佐賀県に引き継がれました。

海上歓迎行事では、漁船、港湾関係船33隻による海上パレードが行われ、続く放流行事では、アワビ、サザエ、アマモが両陛下から漁業後継者、海の環境改善に取り組む市民にお手渡しされました。また、両陛下によるアマナゴ、マコガレイ、マダイ、ホシガレイの稚魚のご放流も行われ大会行事を終了しました。

2. JF全国漁業者代表者集会 新運動方針等を決議

JF全漁連では11月19日、虎ノ門パストラル(東京)において、全国から約650人が参加して「JF全国漁業者代表者集会」を開催しました。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

木村稔JF全漁連副会長(JF宮城漁連会長)の開会宣言で始まり、主催者を代表して植村正治JF全漁連会長の挨拶に続き、来賓として小林芳雄水産庁長官が中川昭一農林水産大臣の祝辞を代読し、鈴木俊一自民党水産総合調査会長と渡辺孝男公明党農林水産部会長が夫々挨拶を行いました。

新運動方針決議では佐々木・JF全漁連副会長(JF愛媛漁連会長)が「JFグループの事業・組織・経営改革に向けた新運動方針(案)」を提案し、続いて、佐々木憲雄JF志津川(宮城県)組合長が「JFグループの組織・事業改革」について、また、尾山春枝JF全国女性連会長(JF富山女性連会長)が「漁業漁村の活性化への貢献」についてそれぞれ意見表明を行い、満場一致の拍手のもと新運動方針が採択されました。

引き続き漁協・漁業経営で大きな障害となっている燃油価格高騰について、即効性のある特段の激変緩和措置を講じること 省エネ・省コスト構造への転換支援措置を講じることの2点を政府・国会に強く求めていくことが緊急決議されました。

続いて、特別決議では「JF合併と事業改革の実現に向けた特別決議」と「JFマリンバンクの健全性・信頼性確保に向けた特別決議」がそれぞれ、服部郁弘JF全漁連政策部会長(JF香川漁連会長)と櫻庭武弘JF全漁連副会長(JF北海道信漁連会長)が読み上げて満場一致で決議されました。

重点取り組み事項： 19年度末の「漁協合併促進法」期限を踏まえた漁協合併構想の完遂 赤字の事業利益の“ 字回復 ”に向けた取り組みによる健全経営の確保 組合員の漁業経営の安定に貢献するJF事業改革の実践 漁業・漁村の活性化への貢献

3. 第11回県青年・女性漁業者交流大会開催のお知らせ

本会では12月2日、もくせい会館において「第11回静岡県青年・女性漁業者交流大会」(参加無料)を県との共催により次のとおり開催します。

この大会は、県下漁村の青年・女性漁業者が一堂に会して、地域グループの活動状況、活動実績を発表し合い、相互の知識交流を深め、その結果を広く普及することによって、活動意欲の向上を図り、もって漁業の振興に寄与しようとするを目的として毎年開催しているものです。

発表内容： 南伊豆町漁協青壮年部『エビと共に、未来に想いを馳せる ～イセエビ小型個体の有効利用について～』 浜名漁協採貝組合連合会『浜名湖のアサリを守る』 焼津蒲鉾商工業協同組合商品開発研究会『地域資源を活用した特産品の開発』 県漁協女性部連合会『静岡県漁業協同組合女性部連合会のこの10年の活動を振り返って ～女性部連合会の50周年を迎えるにあたって～』 先進地視察報告：内浦重須地区水産資源増殖会『養殖水産物の付加価値向上に関する先進地視察報告』 水産高等学校研究発表：焼津水産高等学校食品科学科『缶詰の内面腐食の調査・研究』

開催日時：平成17年12月2日 13時(受付) 問合せ先：県漁連漁政課 TEL:054-254-6011

4. 諸会議・日程(11月29日(火)～12月12日(月))

- 既報分省略 -

11月30日(水) 静岡県水産振興推進協議会

= 自民党県連農林水産対策連絡協議会陳情 (静岡市)

12月 7日(水) 県養鰻協会 = 養鰻研修会 (吉田町)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう